学校法人エイジェック学園　スポーツ健康医療専門学校

２０２４年度　学校関係者評価会議議事録

【開催日時】　２０２５年6月４日（水）　１６：３０～１８：００

【開催場所】　スポーツ健康医療専門学校　２０２教室

【参加者】

学外評価委員（敬称略）

向井　廣志	千葉県立千葉南高等学校元校長
原　吾郎	合同会社　史（ふみ）
髙見　令央	元国際武道大学学長
穂坂　綾一	（株）能力開発　企画営業課課長
泉澤　勝	いずみさわ整骨院院長

学内委員

委員長	桑原　淳	（学校長）
	木原　和彦	（教務部長）
	最上　忠	（柔整科学科長）
	松澤　孝司	（鍼灸科学科長）
	高野　弘仁	（鍼灸科試験担当）
	渕ノ上　真太郎	（柔整科副学科長）
	林　泰京	（柔整科・鍼灸科実習対応）
	大野　和哉	（広報部次長）
書記	菊地　滋幸	（事務局長）

【欠席者】

なし

１．　開会　本日の予定、趣旨説明

（木原）本会の開催挨拶、趣旨説明を行う

２．　校長挨拶

・教育理念について説明

「相互活躍」を教育理念とし、臨床に優れた「高い専門性」と「豊かな人間性」を兼ね備えた職業人を育成している。また、「助ける技」「支える心」「向上心」を備えた職業専門家を育成している。

・沿革について説明

平成１２年（２０００年）４月「両国柔整鍼灸専門学校」として開校。

２０２２年４月１日より「エイジェック学園　スポーツ健康医療専門学校」へ設置者名を変更。

・自己点検・評価の目的と全体方針を説明。
質の高い教育の提供と社会貢献を目指している
エイジェックグループとの連携強化による相乗効果の追求をしている

３．　委員及び事務局紹介（木原）
外部評価委員の紹介
学内委員の紹介

４．２０２３年度学校自己点検報告説明
（木原）本部会開催の趣旨説明
重点目標について２０２４年度の結果と２０２５年度目標を説明
基準１から基準１０の項目について各担当者より説明

基準１　教育理念・目的・育成人材像
基準２　学校運営
基準３　教育活動
基準４　教育成果
基準５　学生支援
基準６　教育環境
基準７　学生の募集と受入れ
基準８　財務
基準９　法令等の遵守
基準１０　社会貢献・地域貢献

■基準１，２
桑原より資料をもとに、教育理念、運営内容、目標、組織について説明する。
菊地より資料をもとに、教育理念、運営内容、目標、組織について説明する。

■基準３，４，５
鍼灸科発表
松澤、高野より基準３～５について、資料をもとに実績と課題を説明する

柔整科発表
最上、渕ノ上より基準３～５について、資料をもとに実績と課題を説明する。

実習状況（部活動実績）
林より基準３～５について、資料をもとに実績と課題を説明する。

■基準６、７、８，９
事務部発表
菊地滋より基準６～９について、資料をもとに実績と課題を説明する。

■基準７，１０

広報部発表

大野より基準７、１０について、資料をもとに実績と課題を説明する。

５．質疑応答と評価、高評

（向井）付属鍼灸院はいくつあるか

（桑原）１つ。増やす予定はなし。

（向井）国家試験不合格になったものはどうなるのか

（両科）退学または聴講生となる。また退学者数の状況を回答。

（向井）広報活動に関して

高校への営業は、ターゲットをしっかり絞って営業をする

（桑原）ターゲットを絞って訪問をしている。

ターゲット先に関しては各高校の状況（就職先、学力レベル等）をしっかり分析して定めていく。

また、ＳＮＳを利用した広報活動も強化している

（向井）懸垂幕の作成を進める

（桑原）ただいま作成中

（向井）授業のデジタル化について

バランスを考えてデジタル化をした方がよい

全て電子化をするのは危険である

（原）退学率について

他校の状況と比べてどうか

（渕ノ上）他校よりは低い

（髙見）ＡＴコース、週３コース等新しい取り組みをするのはとても良いことである

合わせて中期計画（３年、５年位）を立てると良い

（桑原）中期計画の策定を進める

６．閉会挨拶